

I 神が求められる牧師の資質

1. 「監督（原語：注視する、世話をする人。現在では牧師のこと）は、非難されるところがなく（誠実さ）、一人の妻の夫であり（主の愛で夫婦が互いに愛し合い、赦し合い、支え合う）、自分を制し（原語：節酒する、酒の控えめな、真面目な、冷静な）、慎み深く（原語：理性がある、正気である、分別がある、思慮深い、思慮深く振る舞う、節度を以て考える）、礼儀正しく（つつましい）、よくもてなし、教える能力があり（自分の考え、思想ではなく、神の御言葉を教える人。御言葉の霊的栄養を与える人。説教のスタイルは、それぞれに神が与えられた賜物により違う。アウトラインがある人、ない人。内容をプリントして渡す人、渡さない人、それぞれ、神は用いられる。説教は、祈られる事と経験、年数で成長して行く。教職者は皆、緊張して初めて説教する経験があり、いつも反省し、へりくだり、成長して行く。40年続けている私は、今も、毎週、反省し、学び続けている。説教は、簡単なものではなく、重責なので、祈り支えていただきたい。1回の説教での評価ではなく、3年程、見守り、祈り支えていただきたい。）」：2

2. 「酒飲みでなく（原語：酔っぱらっている、酒に溺れている、放蕩ではない人。酒に酔う時、正しい判断ができず、悪い事や不品行の誘惑に会い易い。次の日に、その事を、覚えてもいない。そのような人に、神の聖なる御言葉は、説き明かせない。御聖霊の働かれない説教となる。そこには、聖なる力がない。牧師には、一日の中で、いつ、深い悩みの相談があるかわからない。もし、酔っぱらっているなら、正しい判断は出来ず、神に祈る事も出来ず、相談する人に聖なる愛と冷静な判断をもって接する事は出来ない）、乱暴ではなく（原語：喧嘩する人ではなく、喧嘩好きな人ではなく。怒り易く、喧嘩好きな人、怒りで人を支配する人は、牧師に相応しくない。神は、そのような器を、用いられない。喧嘩好きな人は、牧会が出来ない。牧師は、祈りつつ、神からの愛と平和をもって、皆をまとめて行く器。※喧嘩腰ではなく、柔和な心で人を正さなければならぬ時もある。ガラテヤ6：1）、柔和で（原語：寛容な、寛大な、柔和な、温和な、優しい、親切的な。牧師は、乱暴な言葉や振舞いをせず、柔和、温和、優しさで、教会の平和な温かい雰囲気を作る。信徒や求道者は、柔和で、優しい牧師に相談しやすい、心が通う関係作りが大切）、争わず（原語：争いを好まない、平和的な。問題を回避する事なけれ主義ではなく、争わず、祈りつつ愛と主の平和をいただいて、対話をして行く）、金銭に無欲で（原語：金銭に愛着がない、欲のない。神が与えられるものを心から感謝する心。「衣食があれば、それで満足すべきです」I テモテ6：8。「金銭を愛する生活をせず、今持っているもので満足しなさい」ヘブル13：5。金銭に無欲で忠実な牧会者には、教会は、牧会者の家族の生活を支えたい。神は、牧会者の経済も教会の経済も良く知っておられ、祈り求める時、必要を満たして下さる。）。※神は、教会に柔和で優しい牧師を支える心を与えて下さる。

3. 「自分の家庭（夫婦が互いに愛し合う関係を祈りつつ築く）をよく治め、十分な威厳をもって子どもを従わせている（子供の人格を無視して強制的に従わせるのではなく、主から愛と知恵をいただいて育てる。家庭礼拝をする）人でなければなりません。自分自身の家庭を治めることを知らない人が、どうして神の教会を世話することができるでしょうか」：4、5。家庭では、自分の本当の状態、霊性が見える、分かる。牧師が、毎朝、祈り、御言葉を読み味わい、神と交わる姿が家族には分かる。家族の責任者として、主に同い祈りつつ、家族を導く。神の家族である教会も謙遜で誠実な牧師を尊敬し支える。

4. 「割り当てられている人たちを支配するのではなく、むしろ群れの模範（神との交わりから生まれる信仰、祈り、愛、誠実さ）となりなさい」I ペテロ5：3。教会の中で、教会の頭、支配者は、キリストご自身のみ。

牧師は、信徒を支配してはならない。と同時に、教会の強い人に支配されてもいけない。教会は、支配ではなく、互いに聴き、互いに語り、中心におられる真の支配者である主に御心を祈り求める。支配者を造らないように！

Ⅱ 神が信徒に与えられる責任、務め

1. 「あなたがたの間で労苦し、主にあってあなたがたを指導し、訓戒している人たちを重んじ、その働きのゆえに、愛をもって、この上ない尊敬を払いなさい（支えなさい）。また、お互いに平和を保ちなさい（陰口ではなく、対話をする）」Ⅰテサロニケ5：12，13

2. 「働く者が報酬を受けるのは当然である」と言われているからです。Ⅰテモテ5：18。牧会者家族を、教会は、経済的に支える。教会の経済状態に応じて。牧会者が、教会により、経済的に支えられる時、牧会者は、本分の祈りと御言葉の奉仕に専念できる。結果的に、教会は成長して行く。皆様の奉仕のおかげで、私は祈りと御言葉の奉仕に専念、感謝！

3. 信徒は、牧会者の教会員の為の祈りと御言葉の奉仕の為に、日々、祈り支える。私は、ライトハウスの皆様が、祈り支えて下さっている事を心から感謝している。祈りの支えがなければ、とっくに悪魔にやられ、牧会の奉仕から退いていることだろう。「私のためにも、私が口を開くときに語るべきことばが与えられて、福音の奥義を大胆に知らせることが出来るように、祈ってください」エペソ6：19。あの偉大な伝道者であるパウロは、各手紙の最後に「私の為に祈って下さい」と強くお願いしている。彼は、祈られる祈りの力、祈りを通して働かれる神の力、助けを本気で信じていた。私の為に祈り支えて下さったように、後任の牧師ご夫妻の為に祈り支えていただきたい！

Ⅲ 牧師にも信徒にも必要な事。

1. 相応しい牧師、仕える教会が与えられる様に日々祈りたい！
2. 「みな（牧師も信徒も）互いに謙遜（人を支配しない心、互いに聴く心、感謝する心）を身に着けなさい。『神は高ぶる者（神に頼らず、自分の力を誇る。すべては神から与えられている恵みを忘れ感謝しない恩知らず。神に聞かず、神の座に、のし上がり、人を支配し、人の意見に耳を傾けない。神と人から学ぶ心のない人＝霊的成長が止まる）には敵対し（用いられず）、へりくだった者（神に頼り、人にも耳を傾ける、神を崇め、人を尊敬する人、神と人に感謝する人）には恵み（祝福）を与えられる』Ⅰペテロ5：5。
3. 就任する牧師は、まず、教会の歴史を知り教会員と交わり、一人一人を理解し愛する。
4. 教会員は、迎える牧師ご夫妻と交わり、賜物を理解し、祈り支え教会を建て上げる。
5. 教会は、牧師の存在を、牧師は信徒が与えられている事を感謝する。感謝の心！